行政区長会と市議会との意見交換会

令和８年８月１０日（月）に行政区長会と市議会との意見交換会が開催されました。各地区の代表行政区長が参加され、行政区長会から意見交換のテーマとして「議員定数」「会派活動」「議員視察」が示されました。意見交換会の内容を一部紹介します。

議員定数

議員定数について人口減少や財政難、広域化等の問題を考えた時に現在の定数である２２人が適当なのか意見交換が行われました。他自治体と比べて八女市の議員定数の見直しについての考え、日頃の議員活動について等の質問・意見が出されました。議会においては、議会活性化検討委員会で議論した経過を説明しました。

会派活動

各会派の活動実績、今年度に予定されている活動や会派のメリットについて質問がありました。議会において代表質問の運用の考えについて意見交換が行われました。会派として活動していることが市民へ伝わらないことは残念だと感じるため、より良い政策の実現に向けて活動が市民へ見えるように広報活動や、活動を充実させるための検討について要望がありました。

議員視察

行政区長会においても、市政課題に関する先進地視察を行っており、視察の有用性は認識しています。議員の各種視察の実績とその視察がどのように議員活動、市政に反映できているかを知りたいとの質問がありました。

各常任委員会委員長より質問に対する回答を行い、視察の重要性を含め、報告を行いました。





議員研修「財政セミナー」

（７月１７日、八女市役所）

立命館大学の森裕之教授（政策科学博士）を講師として招き、「八女市の財政を診る」というテーマで議員に対して財政セミナーを開催しました。八女市の財政について、他自治体の例を参考にしながら分かりやすく解説していただきました。人口減少や物価高などの要因による財政負担の増加は避けられない状況ではありますが、引き続き八女市の財政の健全性を保てるよう、議員一同注力してまいります。

福岡県議会主催「議会関係ハラスメント根絶のための議員研修」

（８月３日、福岡市）

福岡県内の市町村議会議員を対象に、ハラスメントに対する研修会が開かれました。世間でも注目を集めるハラスメントですが、今回の研修では主に様々な種類のハラスメントやインターネット上の違法・有害情報における対応方法について理解を深めることができました。市民と第一線で向き合う議員はお互いを尊重し合い、よりよい八女市をつくっていかなければなりません。今後も市民に寄り添った議員活動を行っていきます。

